

ちょっといい話

中心なき組織は機能しない。チームの鑑となる人物が必要。V9時代の巨人が理想で、王、長嶋がチームの鑑だ。ONが率先してやるから、ペーぺーはぼやぼやしてられない。逆に、弱い組織にはいつまでたっても鑑がないんだよ。(野村克也さん)

持続的成長には重要なことがもう一つある。トヨタ中に数多くのリーダーをつくりあげること。より現場に近い、より商品に近い、よりお客様に近い所にリーダーが何人もいて、リーダーズが会社を引っ張ることが重要です。(トヨタ社長・豊田章男さん)

品川の教育

今年4月に発行した品川区教育史「品川の教育」を読み進めます。

教育改革「プラン21」、そもそも…

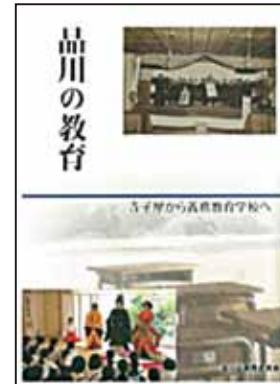
基本的な考え方が、(1) 指導内容、教材、指導方法、指導形態の開発や改善、(2) 学校の社会的位置付けに関する見直し、(3) 学校教育制度のあり方に関する見直しの三つの視点でまとめられています。「品川の教育」より)

さて、それぞれ何を言っているのでしょうか。

(1) は教育指導そのものです。指導の研究は行われていましたが、取り組みの目的が不明確で、客観的に成果を確認したり、継続性を持たせたシステムがなく、研究のための研究に過ぎなかったといった反省の表れでしょう。これを克服するために、校長を中心に学校経営の計画を立て、データの裏付けがあれば予算が配分される仕組みを作り、教員の指導力を客観的に評価するために教科担任制を導入した、としています。

(2) は、「黙っていても地域から子どもたちが入学し、何事もなく送り出せばそれで終わり、結果責任が問われない構図」があり、「学校の自立性、自主性の上に胡坐をかき、社会が学校に何を求めているのかに鈍感になっている」といった危機意識のもとで、次のような改革を進めていきます。「選ばれる存在とすることで学校に緊張感が走り、保護者への説明責任、結果責任を果たさなければならなくなる」(学校選択制)、「学校の質的転換、特色ある学校づくり、規則型から成果型の学校経営にしていくための方策」(外部評価制度、学力定着度調査)

(3)は、「6・3 制の弾力的運営で小中一貫教育の推進」を目指すものです。小学校と中学校の文化の違いの壁は厚く、単なる小中連携ではその溝は埋まらないとしています。小学校に対しては「中学校の学びにどう繋がるかを意識せずに、小学校での学びを完了させることで事足りりとしていた」。中学校に対しては「小学校では、基本的な学習・生活態度、基礎学力を定着させていない、と腹を立てているだけ」。そして、「双方が責任転嫁する構図があり、お互いを知らず、不信感を持ったまでの部分的連携では、表面的で形式的な交流しかできない」。こうして、教員が一体とならざるを得ない小中一貫教育の導入が決断されていきました。



発行日：
平成28年11月1日(火)
発行者：
若林ひろき 品川区議会議員
ブログ：
[http://ameblo.jp/
wakabayashi-hiroki/](http://ameblo.jp/wakabayashi-hiroki/)

しながわ見守りホットライン
地域の中で「虐待では?」と感じたことがあつたら、迷わず「しながわ見守りホットライン」へお電話ください。
●しながわ見守りホットライン(24時間受付)
【児童】 ☎(3772) 6622 【DV】 ☎(3777-6601) 【高齢者】 ☎(3772) 6609
【障がい者】 ☎(3772) 6605

「成功を逃す人はうまくいつたときは自分の実力だと勘違いし、うまくいかなかつたときは環境のせいにして、周囲や他人に責任を転嫁するのです。

くいつたときは運が良かつたと思え。うまくいかなかつたときは自分のどこが足りないかを反省しろ」と松下幸之助さんも説いています。社会で成功するには謙虚さと反省する心が不可欠なのです。

ビジョナリーカンパニー②にも似たような表現が出てきます。会社を飛躍的に成長させた経営者は「うまくいったときは窓の外を見て、失敗したときは鏡を見

私の本棚 「一流の人は本気で怒る」 （小宮一麿著『文芸新書』）その9